# 会　議　録

1　会議名
令和 8 年度 第 5 回 中郷区地域協議会

2　議題（すべて公開）
⑴ 開会
⑵ 報告事項
・上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案について
・市民の消火栓の使用について
・地域協議会会長会議について
⑶ 協議
・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
・自主的審議事項「い～住プロジェクト」について
⑷ その他

3　開催日時
令和 8 年 8 月 24 日（月）18 時 30 分～19 時 55 分

4　開催場所
中郷コミュニティプラザ ホール

5　傍聴人の数
報道 0 人、傍聴 2 人

6　非公開の理由
なし

7　出席した者（傍聴人を除く）
地域協議会：竹内会長、岡田委員、尾﨑委員、髙橋委員、竹内委員、田中委員、
松岡委員、村越委員（欠席 4 人）
事　務　局：岩﨑所長、金井次長、朝日グループ長、桐山地域振興班長、近藤班長、
平原班長、更山地域振興班主事
資産活用課：敷波副課長、長ケ部施設経営係主事
ｽﾎﾟｰﾂ推進課：佐々木副課長
社会教育課：加藤参事

８ 発言の内容

【報告事項（上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案について)】

■ 説明

資産活用課、スポーツ推進課、中郷区総合事務所が資料 No.１に基づき説明。

はーとぴあ中郷については、試行的に休館している月曜日を休館日とする条例改正も行う。

■ 質疑応答

・ 質問／意見：中郷総合体育館の見直しについては、現行の午後９時閉館では利用時間が短く、午後 10 時閉館への変更は大変ありがたい。

→回答：夏場は夜間利用の需要が高く、また、冷房設備のない施設も多いことから、体育施設は午後 10 時まで利用できる案としている。

・ 質問／意見：施設使用料の減免制度についても見直しも行うのか。

→回答：今回は減免制度の見直しは行わず、使用料の改定のみとしている。

・ 質問／意見：地域行事や地域団体による施設利用については、準備や片付けを含め柔軟な運用を継続してほしい。

→回答：地域行事等により、休館日の利用が必要な場合は、事前に調整の上、必要に応じて対応する。

【報告事項（市民の消火栓の使用について)】

■ 説明

事務局が資料 No.２に基づき説明。

■ 質疑応答

・ 質問／意見：消火栓は使ってはいけないものだと認識している人も多いはずだと思う。

→回答：一部の地域で住民も使用したいという意向があったため、市として検討した結果、一定の条件のもとで使用を認める方針とした。消火栓の使用に関する相談を受けた場合は、総合事務所へ案内してほしい。

・ 質問／意見：消防団員の減少や高齢化が進んでおり、火災発生時に誰が対応するのか不安な町内会もある。各町内会で訓練や使い方の指導を行い、消火栓の維持管理も含め、地域全体で支援する必要がある。

→回答：消防団員は減少傾向にあり、消防団の役割を維持するため、再編を進めている。消火栓の使用について相談があれば総合事務所を窓口として対応する。

【報告事項（地域協議会会長会議について)】

■ 説明

竹内会長が８月 17 日（月）に開催された「地域協議会会長会議」について報告（資料№3)。

会議では、新たな補助制度の概要について説明があった。制度の変更に対して、一部地域の会長から反対意見や説明不足を指摘する声があった。

若い世代が活用しやすい制度設計の要望や、地域活動の継続に支障が生じないよう実態に合わせて十分な予算確保が重要であることを会議の場で意見した。市からは、単純な人口割ではなく、各地域の活動実績や継続性を踏まえて予算配分したいとする旨の回答があった。

■ 質疑応答

・ 質問／意見：新たな補助制度のもとで、現在実施している事業がどこまで実現できるのか不安がある。

→回答：予算枠の詳細は、8 月 25 日（火）の市長記者会見で発表されるが、地域協議会、地域活動団体及び総合事務所が連携して進める体制は今後も継続する。詳細は次回の地域協議会で説明する。

・ 質問／意見：地域ビジョンの協議に時間を費やしすぎると自主的審議事項の協議が進まなくなる。別途協議の機会を設けるなど会議時間を有効活用してほしい。

→回答：地域協議会の時間は貴重であるため、必要に応じて別途協議する時間を設けるか正副会長と事務局で検討する。
地域ビジョンは、新たに作成するのではなく、これまで取り組んできた事業や活動を基に整理し、事務局が案を作成したうえで、委員の意見を反映しながら策定していきたい。

【協議（自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について)】

■ 説明

事務局が、資料 No.4～5 に基づき説明。

令和 9 年度の「子どもの い～場所開設事業」の実施や見直しについて、委員から意見を伺いたい。

■ 質疑応答

・ 質問／意見：コミュニティバス「さくら号」は利用者から好評との声を聞いており、順調に運行されていると思う。今後も継続してほしい。

・ 質問／意見：コミュニティバス「さくら号」の運転手から、利用者は増加しているが、新規利用者が少ないとの声があった。高齢者の中には利用方法が分かりにくいとの声もあるため、視認性の高いチラシを作成するなど、周知方法を工夫する必要がある。

・ 質問／意見：「子どもの い～場所開設事業」について、参加児童が増えると見守り体制の強化が重要になる。短時間でもよいので、地域協議会委員にも見守りの協力をお願いしたい。

・ 質問／意見：さとまる学校が実施している「こ食」事業に初めて参加した。学校の教職員や保護者ではない地域の大人が子どもと関わる機会は大変有意義だと感じた。「子どもの い～場所開設事業」についても可能な限り協力したい。

・ 質問／意見：子どもの居場所づくりは、全世帯アンケートの保護者の声から生まれた事業であり、地域にとって重要なものである。補助の制度が変わっ

たとしても、継続して取り組むべきである。
→回答：総合事務所としても継続の必要性を認識しており、補助や委託など様々な手法を検討しながら、関係部署と調整して実施体制を整えていく。

【協議（自主的審議事項「い～住プロジェクト」について）】
■ 説明
い～住プロジェクト座談会で生まれた 3 つの取組について進捗状況を確認。
尾﨑委員から「未来の桜プロジェクト」について報告。
中学校長と協議を行い、中学 3 年生への説明やタイムカプセル製作の時間確保について理解を得た。タイムカプセルの設置場所については候補地を確認し、今後学校と調整を行う。桜の苗木の確保やタイムカプセルの容器の調達、なかごう夏まつりでの募金活動による資金の確保も進んでおり、今後も生徒や保護者と連携しながら事業を進めていく。
岡田委員から「中高生のい～場所づくり」について報告。
えちごトキめき鉄道と協議を行い、二本木駅の利用について了承を得た。今後は実施時期の調整やスタッフの募集等を進める予定である。
竹内会長から「若者のネットワークづくり」について説明。
8 月 21 日（金）に各年代の代表者を集めた打合せを行った。今後は、10 月 23 日（金）の「たき火カフェ」への参加や 11 月 14 日（土）に、はーとぴあ中郷を会場とした「決起集会」を予定している。将来的には、若者が一つの団体を組織し、その活動をまちづくり振興会やさとまる学校、行政で支える体制をつくることを目標としている。
また、竹内会長から、自主的審議事項である「い～住プロジェクト」について、今年度末を一つの区切りとし、来年度からは、現在進めている 3 つの取組のフォローを続けながら、「小中学校の存続」についての審議を開始したいとの考えが示された。
■ 質疑応答
・ 質問／意見：「若者のネットワークづくり」では、国の制度や市が来年度から実施するスタートアップ事業補助等の活用も視野に入れながら、情報提供や支援を行っていく必要がある。

【その他】
■ 説明
事務局から本日の配布物の確認。
■ 質疑応答　なし

９　問合わせ先

中郷区総合事務所　総務・地域振興グループ

TEL：0255-74-2411（内線 165）　E-mail：nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

１０　その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。